

2026年4月19日

# YACかわら版703

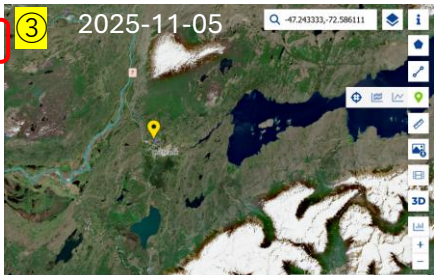
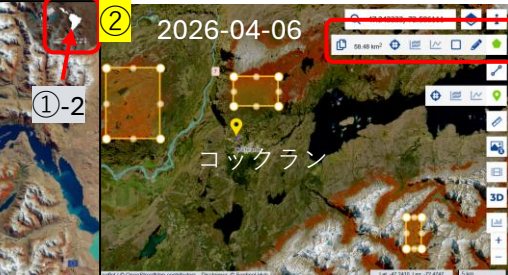
パタゴニア

南半球の紅葉

事例B

事例A

5000km  
2000マイル



函館地方気象台は五稜郭公園のソメイヨシノ標本木の「桜の開花」を4月18日発表しました。ちょうどESA4月9日の画像「チリ・パタゴニアの秋の色彩」を見た後でした。① <https://www.copernicus.eu/en/media/image-day-gallery/autumn-colours-chilean-patagonia>

南半球は紅葉の季節なんだと実感しました。パタゴニア地方ということばかり氷河や高い山々や風の強い草原を連想します。本日の画像の示す位置情報はコックラン北方の山地なので、ここではコックラン飛行場の位置情報を使用します。②  
-47.243333, -72.586111 ①-2

南半球が夏になったころ11月5日の様子も確認します。③  
「おや」紅葉の樹木はどんな樹木なのだろうと、多様なデータが利用できるコペルニクスブラウザの持ち味を活用します。

Data Collections (データコレクション) を選びます。

... Land Monitoring... (...土地モニタリング...) →

... Land Cover ... (土地被覆および土地利用...) →

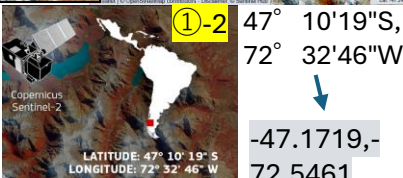
Dynamic ... (ダイナミック...) →LCC 100m→Yearly V3

センチネル2観測データ画面上に、調べる場所を囲み、他のデータ(土地利用データ)を調べることができます。④  
「まあ」3つの囲んだ場所は、閉鎖林 落葉広葉樹だとわかります。

閉鎖林林(へいさりん)とは、隣り合う樹木が互いに接しています。上空から見るとびっしりおおわれています。

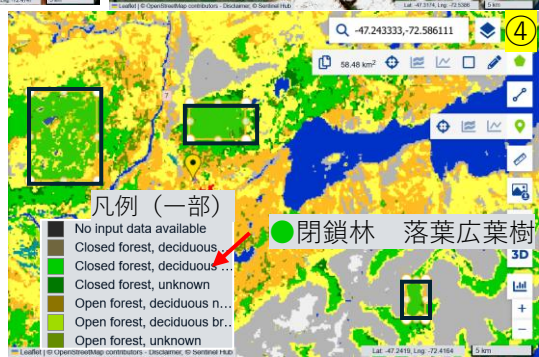
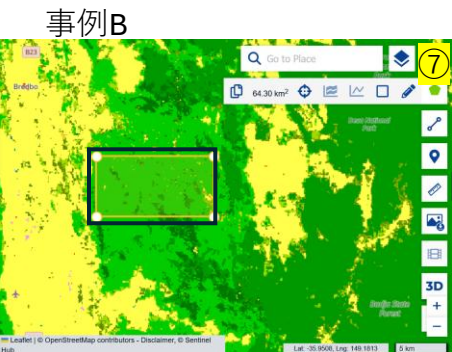
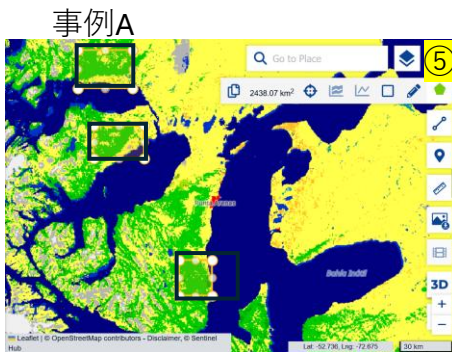
未知の場所でも、この「土地被覆および土地利用」レイヤーを活用し、閉鎖林 落葉広葉樹を表示している場所を探し、その場所を「センチネル2」画像で表示し、紅葉の様子を探ることができるか試してみました。「ふーん」

事例A プンタ・アレナス -53.147,-70.906  
北側に南極半島への拠点空港があります ⑤→⑥



事例B ブレッドボ ⑦→⑧  
-36.0386,149.2795  
メルボルンの東南東200km

「土地被覆および土地利用」データを活用すると、南半球の紅葉を探ることができます。



複数のレイヤーをコペルニクスブラウザ画面上に表示することができます。これはすごいこととです。

